

2007年総会記念講演 「ユニフェムと国連改革」(要旨)

ユニフェム日本国内委員会理事長：有馬 真喜子氏



2006年11月に出された国連事務総長のHigh-Level Panel の報告から抜粋した資料により、国連改革の現状について説明する。

先ず「Gender equality and women's empowerment」というタイトルに注目していただきたい。これはまさにユニフェムがスローガンとしてきたものとぴったり重なる。そして過去60年間、国連は男女平等の問題に深く関わってきたし、成功を収めてきたという総括が書かれている。

いま、国連の女性部門は婦人の地位向上部という事務局、国連事務総長のジェンダー問題についての特別アドバイザー、ユニフェムの3部門に大きく分かれている。今度の改革では、この3つを1つにまとめ、国連事務次長をトップとして、1. 事務的な作業、調査分析・結果をモニターする部門、2. プログラムをし、実際に実行していく部門、という2つに大きく分けて運営することになるようである。

ジェンダー平等と女性のエンパワーメントを達成するための活動を進めると同時に、コスト削減と効率向上が求められている。開発・人道支援・環境・人権・平和維持活動・平和構築運動などを意識し、ジェンダー平等と女性のエンパワーメントにしっかり焦点を当て、各地域、国、女性団体と協力関係を組みながらやっていくこと。活動の基礎になるのが、1つは北京行動綱領であり、もう1つが国連安全保障理事会決議1325号であるとされている。

Funding(資金)に関してはかなり変わる。これまでユニフェムの資金は、各国や国内委員会からの任意の拠出金で成り立っていた。この拠出金は継続するが、基本的には国連の予算からお金を分配されることになる。

今までユニフェムがお金をどこに支出するかは、最終的にはUNDP(国連開発計画)の決定によっていたが、ジェンダーの部門が1つになり、そこで決定することが出来るようになる。

Gender entity に対する資金割り当ても増えるのではないかと思います。

ユニフェムは、国連改革で統合された機関の中で、具体的活動を展開していく役割を担うことになる。北京行動綱領に基づく活動とともに、平和構築活動も期待されている。

ジェンダーに関しては、日本では色々議論があるが、国連では、gender equality は普通に使われており、それは権利・責任・機会について男女が平等であることを意味する。国連では、ジェンダーの定義を社会的態度だとしている。

1975年、第1回世界女性会議がメキシコ市で開かれた。先進国の女性と開発途上国の女性との対立が深かったが、お互いの立場を知り、途上国の女性の条件を少しでもよくするような機関を国連につくろうという声がNGOから上がり、1976年、国連総会で、ユニフェム(国連女性開発基金)の設立が決まった。

1979年、女子差別撤廃条約。1985年、ナイロビ将来戦略。1993年、世界人権会議がウィーンで開かれ、旧ユーゴスラビア紛争下における女性の人権侵害が持ち込まれ、女性に対する暴力、日本の従軍慰安婦問題も取り上げられた。1995年、日本は暴力撤廃信託基金をユニフェムの中につくった。現在この基金によるプログラムは活発に行われている。安全保障理事会決議1325号が加わり、紛争の解決、平和の構築にも関わっている。

2007年「ユニフェム東京」総会の報告

2007. 1. 25 / 津田塾大学同窓会会議室



はじめに司会の松山正恵副会長より「総会は、出席者33名、有効委任状114通を以って成立した」との報告があり、規約17条3項に基づいて、五十嵐康子会長が総会議長に就き、順次議事がすすめられた。

総務より2006年度事業報告、会計・監事より決算及び監査報告があり、2006年度事業に拠るユニフェム東京の拠出金は多くの会員、協力者によって予算額を上回る118万890円を送金することができたとの報告と謝意が述べられた。

続いて2007年度事業計画案、予算案が提示され出席者全員が賛同し、事業計画、予算は承認された。また2006年度特別事業として事業計画に示された『ユニフェム東京5年史』が発刊された旨の挨拶（中村ミチコ編纂委員長報告文代読：五十嵐議長）と中村道子編纂委員の経過説明があった。

尚、2005年9月の臨時総会における規約改定により、現役員17名及び監事2名が2007年度まで現体制で務めるとの紹介の後、総会議事はすべて終了した。

第二部総会記念講演は「ユニフェムと国連改革」と題して、有馬真喜子NP0法人ユニフェム日本国内委員会理事長から国連組織の現状も含めた活動の展望を伺うことができた。いま国連の組織改革の柱となっている開発、人道支援、人権、平和に関する機関を統合し、ジェンダー部門や財源を一本化するという方向性が「ユニフェム」にどのような影響があるのか、私たちの活動がどのように変わっていくのか、今後の方針などを思索していくためにも大変有意義な機会となった。

2006年度事業報告 (抜粋)

2006. 1. 1～2006. 12. 31

1. 会員数 個人会員＝351名、団体＝9団体、
賛助会員＝11名
2. 広報・啓発
 - ①ニュースレター「ユニフェム東京NEWS」第18号～第20号
 - ②パネルの作成、展示
 - ③第3回お話の会＝「ケニアのソマリア難民キャンプ訪問記＝難民女性と教育」
 - ④HPの更新
3. 事業
 - ①チャリティーコンサート
 - *「前田リリ子カルテットのタベ」
 - *「英国大使館合唱団クリスマスコンサート」
 - ②ユニフェムグッズ
 - *オリジナル花カードの作成
 - *開発途上国の産品購入

★上記の物品を以下の場所で販売した。

2006年度総会、日本国内委員会総会及びネットワーク会議、第8回・第9回チャリティーコンサート、オールソフィアの集い、第3回お話の会、ヌエック・ワークショップ、上尾市民文化センター、実践桜会バザー、普連土学園バザー、汎太平洋東南アジア婦人協会バザー、

委託販売＝よこはまユニフェムショップ、群馬婦友会 他
4. 募金活動
 - ①各種行事、コンサート会場、バザー会場に募金箱を置いた。
5. 会議、勉強会
 - ①定例会議12回
 - ②コンサート実行委員会5回
 - ③役員の勉強会1回
 - ④「ユニフェム東京5年史」編纂委員会8回
6. 2006年度特別事業「ユニフェム東京5年史」編纂と出版

2006年度決算報告 (抜粋)

2006. 1. 1～2006. 12. 31

1. 収入の部

収入の部			
①会費収入	1,096,000		
②寄付収入	570,150		
		活動寄付	216,650
		寄付	353,500
③募金収入	410,845		
④事業収入	1,810,100		
		グッズ	1,004,000
		コンサート	806,100
⑤利息収入	292		
⑥雑収入	700		
⑦前期繰越金	3,829,740		
収入合計	7,717,827		

2. 支出の部

①事業費	1,491,535		
②管理費	978,026		
		事務所費	580,152
		事務費	397,874
③ユニフェム拠出金	1,180,890		
④特別事業引当金	18,035		
⑤次期繰越金	4,049,341		
支出合計	7,717,827		

2006年度

★ユニフェム東京拠出金＝1,180,890円

★ユニフェム日本国内委員会＝5,590,629円

★日本政府拠出金＝78,430,000円

「ユニフェム東京5年史」が出来上がりました。総会にご出席の会員の皆様には当日お渡ししましたが、総会をご欠席の会員・関係先にはニュースレターと共にお届けいたしますので、ご高覧ください。

尚、会員外の方や余分にご希望される方には実費(500円)で事業会場等で頒布し、募金扱いとさせていただきます。

2007年度の活動予定・お知らせ

♪ ♪ ♪ 夏・秋二回のチャリティーコンサートを開催します。♪ ♪ ♪

昨年、ユニフェムが設立されてから30周年の佳節をむかえ、今年は「NPO法人ユニフェム日本国内委員会」が承認されて15周年にあたります。そこで各地域等委員会が企画する行事は、15周年記念の意味を込めて開催するということになりました。歴史を刻んでいるユニフェム東京の第10回チャリティーコンサートも、記念行事の一環として開催することになりました。会員、関係者・機関の皆様には更なるご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

夏の
お知らせ

NPO法人ユニフェム日本国内委員会15周年記念 第10回 ユニフェム東京チャリティー コンサート

瀧村 依里ヴァイオリン・リサイタル

ピアノ：大伏 啓太



日 時 2007年7月28日(土) 14:00開演 (13:30開場)

会 場 東京文化会館 小ホール

JR：上野駅 公園口より 徒歩1分

地下鉄銀座線・日比谷線 上野駅より 徒歩5分

2,000円 (全席自由)

主 催 ユニフェム東京
協 力 財団法人 東京都歴史文化財団 東京文化会館

演奏予定曲目

エドワード・エルガー
「愛の挨拶 作品12」

ウジェーヌ・イザイ
「無伴奏ヴァイオリンソナタ
第4番ホ短調 作品27-4」

セザール・フランク
「ヴァイオリンソナタ イ長調」

お申し込み方法

- ユニフェム東京： 郵送またはFaxで受付。料金のお振込み確認後にチケットをお送りいたします。

〒169-0074 東京都新宿区北新宿3-6-5-205
ユニフェム東京コンサート係
Fax：03-3371-5201

振込先：みずほ銀行北沢支店 普通 1025389
ユニフェム東京イベント代表 五十嵐康子

- 東京文化会館： 東京文化会館チケットサービス

Te l：03-5815-5452

※チケット発売期間：4月1日(日)～7月18日(水)

秋の予定

第11回 ユニフェム東京チャリティーコンサート

菊地 恵子 ハープ独奏会

アイリッシュハープ演奏とお話

詳細は次号でご案内

★オールソフィアンの集い★

5月27日(日) 上智大学四谷キャンパス

今年も大学構内で催されるフリーマーケットに応募、出店の予定です。国際性に富んだにぎやかな会場でユニフェムグッズの販売と、ユニフェム活動の意義を伝える広報活動に努力します。

- 会員の皆様も、是非、お出掛けください。

★「お話の会」や「勉強会」など★

昨年秋の第3回「お話の会」が好評でした。

後期活動の予定として、日本国内委員会15周年を記念する意味でも、ユニフェムが支援している国々の女性の実態や、関係する国々のことを学び合ったり懇談しながら、ともどもにユニフェムへの理解をさらに深められる機会をつくっていきたいと考えています。

- テーマや講師のご希望があればお申し出ください。

新会員の募集をしています!!

- * 個人会員 3,000円
- * 団体会員 5,000円
- * 賛助会員(議決権なし) 10,000円

- ・年会費は1月～12月分です。
- ・お申し込みは、随時受け付けています。
- ・ご連絡いただきますと、振込用紙をお送りします。



会計からのお願い

- ☆ 新年度が始まっております。
2007年度の会費納入をお忘れなく、
お納め下さい。

郵便振替：00190-6-550880
口座名：「ユニフェム東京」

- ☆ 郵便局のATMをご利用くだされば
手数料 60円 です。

☆ご入会いただき有難うございました。

2006年11月～2007年1月末日 (敬称略)

新規会員

佐柳 利久 加藤 聖子 西本 京子
清水 美代子 野原 満夫 小野田 秀美
渡辺 珠 ランデス・ハル 熊山 正男

☆ご寄付をいただき有難うございました。

2006年11月～2007年1月末日 (敬称略)

寄付

原 ひろ子 高野 博子 中野 光子
糸井 克 有馬 真喜子 尾高 富佐子
渡辺 珠

活動寄付

池田 路子



ユニフェム日本国内委員会からお知らせ

- ☆ 2002年度拠出金4,706,760円がベトナムの「ジェンダーとHIV/エイズ問題政策支援プロジェクト」に使われる予定でしたが、その運営管理がベトナム政府側との折衝の難航で中断されていました。その後ニューヨーク本部との話し合いによって、ラオス・シルクをはじめとする手工芸に従事する女性のエンパワーメントのために企画された「2006年ラオス手工芸見本市」の開催費用に当てられることになり、ラオスのプロジェクトからは成功を収めたという報告とともに 日本国内委員会に写真が届きました。



ユニフェム日本国内委員会では、今年後半にラオスのプロジェクト視察のスタディツアーを計画しています。内容等は、2007年度総会後に発表される予定です。

●ユニフェム東京からは、次号のニューズレターで詳細をお知らせできるものと思います。

- ☆ ユニフェム30周年記念の「2005・2006ユニフェム年次報告」が美しいカラー刷りで発行されました。日本国内委員会では、中身を日本語に訳して皆様に提供出来る運びとなりました。

★ご希望の方には実費で頒布いたします。(500円＝郵送費別)

★ユニフェム東京では、グッズ販売をする会場やさまざまな機会を通して、ご購入いただけるよう、50冊を準備しております。

※前号4ページ寄付者欄にお名前記載の誤りがありました。

庄子ヨシ様⇒ 庄司ヨシ様

訂正して、深くお詫び申し上げます。

【編集後記】

- * あまり見えていなかったユニフェムへの拠出金の行方が、最近現場からの報告によって具体的に知ることができる機会が増えていることは喜ばしい。
- * 30年前、長い戦争を経てようやく立ち上がったラオス人民共和国。インドシナ半島中央に位置する人口560万人のこの若い国は、経済、教育を中心に新国家建設が進んでいると聞く。昨年からはユニフェム日本の拠出金がこのラオスの伝統的工芸に携わる女性のエンパワーメント支援プロジェクトに役立てられている。多様に発展、変化するこの国の状況の中で頑張る女性たち。その経済的自立に少なからず役立つことを期待したいと思う。

ユニフェム東京NEWS 第21号

発行人：ユニフェム東京会長 五十嵐康子
発行日：2007年3月8日

ユニフェム東京事務局

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-21-11 婦選会館内

Tel:03-3371-5201 金曜11時～15時

郵便振替:00190-6-550880

<http://www.unifemtokyo.org/>

E-mail:info@unifemtokyo.org